

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年12月02日

計画の名称	飛騨市における循環のみちの実現												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	飛騨市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	346	A	346	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27	H29末	H31末
1	下水道整備面積を率で表し、それを83.3%(H27)から100%(H31)に増加させる。 下水道整備率 下水道整備面積(ha) / 計画面積(ha)	83%	83%	100%
2	下水処理場の老朽化に伴い、水処理施設(電気設備)を改築・更新する。33施設 / 33施設(33%(H27) 100%(H31)) 改築・更新済みの水処理施設(施設) / 改築すべき水処理施設(施設)	33%	100%	100%
3	下水処理場における長寿命化計画策定率を20%(H28)から40%(H31)に増加させる。 長寿命化計画策定済の処理場数(箇所) / 長寿命化計画を策定すべき処理場数(箇所)	20%	20%	40%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	終末処理場	改築	古川浄化センター水処理施設改築・更新(長寿命化・処理場)	水処理施設(電気設備等)改築・更新 1式	飛騨市						120	-	策定済	
		長寿命化																		
	A07-002	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	終末処理場	改築	長寿命化調査・設計(長寿命化・処理場)	計画・調査・設計	飛騨市							22	-	-
		長寿命化																		
	A07-003	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	終末処理場	改築	耐震設計(地震対策)	設計	飛騨市							20	-	-
		地震																		
A07-004	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	管渠(汚水)	新設	第1処理分区面整備(未普及解消)	150mm L=0.8km A=2.5ha	飛騨市							56	-	-	
A07-005	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	管渠(汚水)	新設	第3処理分区面整備(未普及解消)	150mm L=0.2km A=1.6ha	飛騨市							16	-	-	
A07-006	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	-	-	効率的な事業実施のための検討等	調査検討資料作成 1式	飛騨市							90	-	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	終末処 理場	改築	長寿命化調査・設計(長 寿命化・処理場)	計画・調査・設計	飛騨市						22	-	-
長寿命化																			
											小計						346		
											合計						346		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
関係部署（環境水道部水道課）により実施	令和2年度
	公表の方法
	市ホームページによる
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道面整備については、計画的な施工により整備率を7.1%増加することができたが、同調施工となる国道車線拡幅工事の進捗状況により本計画での完了には至らなかった。H30に重点計画へ切り分け、継続して事業を推進していく。 ・改築更新については、水処理工程に直接影響する27施設（33施設中 更新率81.8%）を優先的に実施した。H31に別計画へ切り分け、継続して事業を推進していく。 ・長期的な施設の保全のため飛騨市下水道ストックマネジメント計画により、施設情報の収集・リスク評価・改築計画・点検計画等を策定した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>今度も船津処理区の面整備を推進し、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造することに寄与していく。また、施設の改築・更新については別計画にて実施することで、長期的かつ安定的な稼働を可能とする処理施設の構築を目指す。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道面整備率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	90%
同調する国道車線拡幅工事の進捗状況による整備の遅延。H30より重点計画へ切り分け。		
2	水処理施設改築・更新率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	82%
水処理工程に直接影響する27施設を優先的に改築更新を実施。H31より別計画へ切り分け。		
3	長寿命化計画策定率	
	最終目標値	40%
	最終実績値	40%